

バーコードリーダー設定表

(設定項目：データフォーマッターセッティング)

設定内容：エンコードデータ内の任意の場所にユーザー指定のキャラクタを付加します。
(最大4キャラクタまで)

◆設定例◆

設定内容：Code39、「1234567890」の「56」の間に「A」を付加する。

①：Code39を指定 (設定は2ページ)

設定開始 → Data Fomatter Setting 設定
→ Code39 指定「07」 → 設定終了

②：位置を指定して「45」の間に「A」キャラクタを付加

(設定は3～14ページ)

設定開始 → SET1 設定 → 位置指定「05」
→ キャラクタ指定「41」 → セット → 設定終了

設定後の出力結果は、「1234567890」が「12345A67890」となります。

◆位置情報について◆

※設定パラメータのスタート位置は1桁目「0」となります。

位置情報	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
実データ例	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	

◆SET1～SET4について◆

SETは4キャラクタ分の用意がされています。



必要な分だけSET設定を行います。

使わないSET項目を設定する必要はありません。

◆バーコードシンボルの指定◆

(シンボルコード体系と値は 15 ページの表をご参照下さい)



以下のバーコードを順番に読み取って設定して下さい。

① : 設定開始	② : Data Formatter Setting 設定
	


③ : シンボル設定用バーコード (2つの数字バーコードを読み取ります。)	
 0	 5
 1	 6
 2	 7
 3	 8
 4	 9











④ : 設定終了


◆SET1 の設定◆

①：設定開始	②：SET1 設定
	

下記の設定項目のいずれかを選択してください。

③：設定しない	③：位置情報の設定
 <p>“設定しない”を選択した場合は、 SET1 には何も付加されません。 5 ページの「設定終了」を読みます。</p>	<p>④に進んで位置情報を設定して下さい。</p>

④：位置情報設定用バーコード (2つの数字バーコードを読み取ります。)	
 0	 5
 1	 6
 2	 7
 3	 8
 4	 9

⑤ : キャラクタ設定用バーコード
(16 ページの ASCII キャラクタ表を参照して 2 つの数字バーコードを読み取ります。)



0



8



4



C



1



9



5



D



2



A



6



E



3



B



7





F




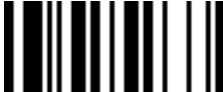









ここで「SET1」の設定は終了です。

◆SET2 の設定◆

①：設定開始	②：SET2 設定
	

下記の設定項目のいずれかを選択してください。

③：設定しない	③：位置情報の設定
 <p>“設定しない”を選択した場合は、 SET2 には何も付加されません。 8 ページの「設定終了」を読みます。</p>	<p>④に進んで位置情報を設定して下さい。</p>

④：位置情報設定用バーコード (2つの数字バーコードを読み取ります。)	
 <p>0</p>	 <p>5</p>
 <p>1</p>	 <p>6</p>
 <p>2</p>	 <p>7</p>
 <p>3</p>	 <p>8</p>
 <p>4</p>	 <p>9</p>

⑤ : キャラクタ設定用バーコード

(16 ページの ASCII キャラクタ表を参照して 2 つの数字バーコードを読み取ります。)



0



8



4



C



1



9



5



D



2



A



6



E



3



B



7





F














ここで「SET2」の設定は終了です。

◆SET3 の設定◆

①：設定開始	②：SET3 設定
	

下記の設定項目のいずれかを選択してください。

③：設定しない	③：位置情報の設定
 <p>“設定しない”を選択した場合は、 SET3 には何も付加されません。 11 ページの「設定終了」を読みます。</p>	<p>④に進んで位置情報を設定して下さい。</p>

④：位置情報設定用バーコード (2つの数字バーコードを読み取ります。)	
 <p>0</p>	 <p>5</p>
 <p>1</p>	 <p>6</p>
 <p>2</p>	 <p>7</p>
 <p>3</p>	 <p>8</p>
 <p>4</p>	 <p>9</p>

⑤ : キャラクタ設定用バーコード

(16 ページの ASCII キャラクタ表を参照して 2 つの数字バーコードを読み取ります。)



0



8



4



C



1



9



5



D



2



A



6



E



3



B



7





F














ここで「SET3」の設定は終了です。

◆SET4 の設定◆

①：設定開始	②：SET4 設定
	

下記の設定項目のいずれかを選択してください。

③：設定しない	③：位置情報の設定
 <p>“設定しない”を選択した場合は、 SET4 には何も付加されません。 14 ページの「設定終了」を読みます。</p>	<p>④に進んで位置情報を設定して下さい。</p>

④：位置情報設定用バーコード (2つの数字バーコードを読み取ります。)	
 <p>0</p>	 <p>5</p>
 <p>1</p>	 <p>6</p>
 <p>2</p>	 <p>7</p>
 <p>3</p>	 <p>8</p>
 <p>4</p>	 <p>9</p>

⑤ : キャラクタ設定用バーコード
(16 ページの ASCII キャラクタ表を参照して 2 つの数字バーコードを読み取ります。)



0



8



4



C



1



9



5



D



2



A



6



E



3



B



7



F



ここで「SET4」の設定は終了です。

◆シンボルコマンド◆

有効にするシンボルコードは下記を参照してください。

” 00 “を選択すると全てのシンボルを適用するに設定されます。

シンボル	値	シンボル	値
Code128	01	Code39	07
UCC/EAN 128	31	Code32	37
UPC-A	02	Trioptic Code39	47
UPC-A + 2 桁	32	Matrix 2 of 5	38
UPC-A + 5 桁	42	Interleaved 2 of 5	48
UPC-E	03	China Postal Code	58
UPC-E + 2 桁	33	German Postal Code	68
UPC-E + 5 桁	43	Code93	09
EAN-13	04	Code11	10
EAN-13 + 2 桁	34	MSI/Plessey	11
EAN-13 + 5 桁	44	UK/Plessey	12
EAN-8	05	Telepen	13
EAN-8 + 2 桁	35	GS1 Data Bar	14
EAN-8 + 5 桁	45	IATA	15
Codabar/NW-7	06	Coupon Code	16

ASCII コード表

HEX 値	0	1	2	3	4	5	6	7
0	NUL	DEL	SPACE	0	@	P	·	P
1	SOH	DC1	!	1	A	Q	a	Q
2	STX	DC2	“	2	B	R	b	R
3	ETX	DC3	#	3	C	S	c	S
4	EOT	DC4	\$	4	D	T	d	T
5	ENQ	NAK	%	5	E	U	e	U
6	ACK	SYN	&	6	F	V	f	V
7	BEL	ETB	‘	7	G	W	g	W
8	BS	CAN	(8	H	X	h	X
9	HT	EM)	9	I	Y	i	Y
A	LF	SUB	*	:	J	Z	j	Z
B	VT	ESC	+	;	K	[k	{
C	FF	FS	,	<	L	\	l	
D	CR	GS	~	=	M]	m	}
E	SO	RS	.	>	N	^	n	~
F	SI	US	/	?	O	_	o	

参照例：ASCII コード表で “1” を HEX コードで表す場合

ASCII キャラクタを HEX コードで表す場合、ASCII コード表の “1” がある場所が重要となります

“1” は横の列で 4 列目にあり、横列の番号で言うと「3」の列にあります。

“1” は縦の列で 2 列目にあり、縦列の番号で言うと「1」の列にあります。

よって 横 “3” 縦 “1” となり ASCII キャラクタを HEX コードで表すときは、「31」となります。

設定用バーコードを読み取る場合は、「3」、「1」と読み取ります。